

会計参謀 for 弥生会計 シリーズ

「移動年計グラフ」の 見方・ポイントのご案内

バージョン 1.0



移動年計とは

移動年計とは、当月を含めた過去 12 ヶ月(1 年間)の合計を毎月、算出するものです。

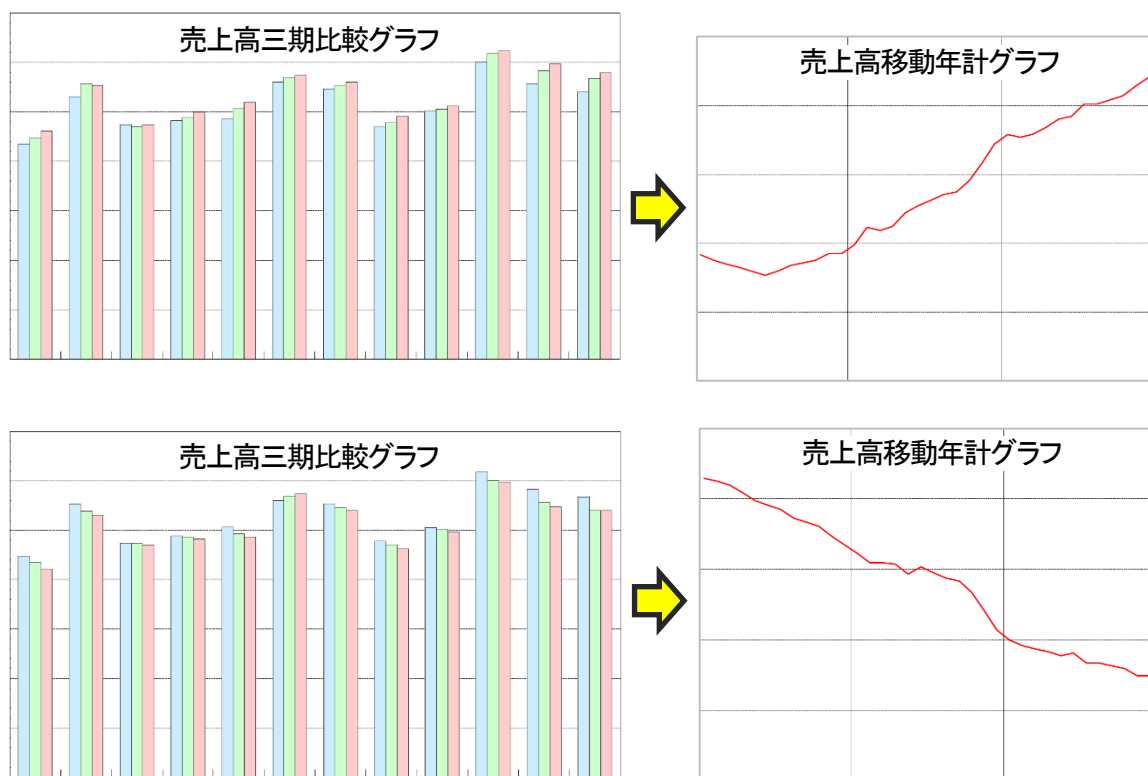
決算では、年に一度だけ 12 ヶ月分の合計を算出しますが、移動年計は各月が 12 ヶ月分の合計額です。つまり、売上高や粗利益、経常利益といった重要な項目の移動年計表を作成すると、毎月決算をしているようなもので季節指数を加味した経営状況が把握できます。

	前期												当期			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
年計												XX	XX	XX	XX	
月額	前期 4 月～前期 3 月まで集計												↑	↑	↑	↑
	前期 5 月～当期 4 月まで集計												↑	↑	↑	
	前期 6 月～当期 5 月まで集計												↑	↑	↑	
	前期 7 月～当期 6 月まで集計												↑	↑	↑	

移動年計グラフで「業績の趨勢^{すうせい}」を把握する

移動年計表をグラフ化する事により、季節指数を練り込んだ業績の趨勢(すうせい)を把握することができます。

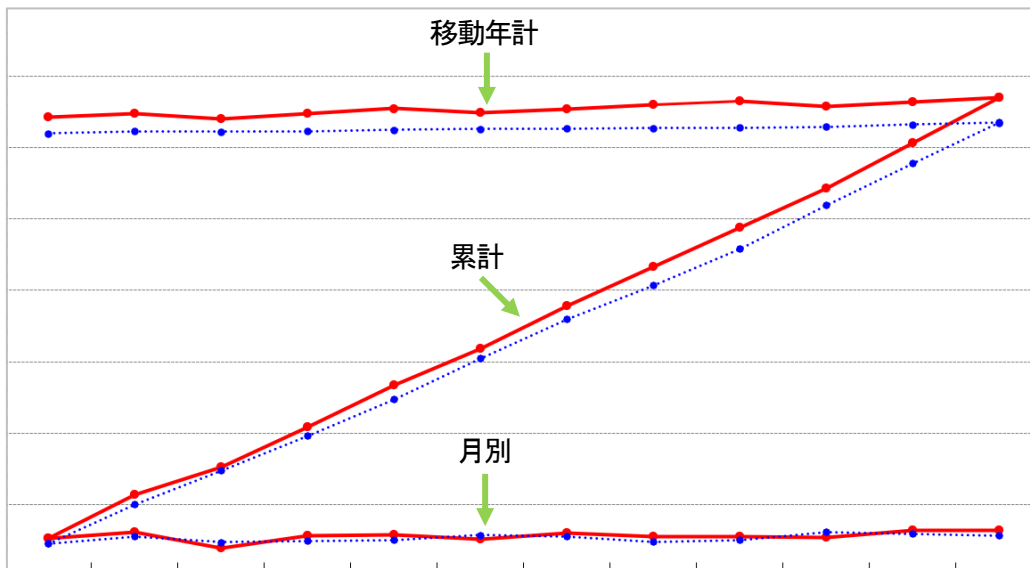
各月が1年間(12ヶ月)の合計、つまり毎月決算をしているようなものですから、業績が上向いているのかそれとも落ち込んできているか、「業績の傾向」を把握できます。



単月ベースの比較グラフは把握しにくい、中長期的な業績の傾向が、移動年計グラフによって把握できます。

月別・累計・移動年計を一つにグラフ化した「Zチャート」で全体の傾向を把握する

Zチャートは、「月別」「累計」「移動年計」を一つのグラフにしたもので、季節指数を加味した業績の傾向を視覚的に把握することができます。



月別（Zの床線）、累計（Zの斜め線）、年計（Zの天井線）でチャートに表しています。

Zの形が右肩上がりであれば業績が上昇傾向となり、右肩下がりであれば下降傾向であることがわかります。

まとめ

月別・累計と「移動年計」グラフを加えて、 過去から現在までの業績推移と趨勢を把握する

会計参謀では、売上高・粗利益・固定費・経常利益を月別比較、累計比較、予算実績比較、移動年計、Zチャートでグラフ化し、業績推移を視覚的に把握できます。

月別と期首からの累計額を当期と過去で比較・分析できるだけでなく、移動年計グラフとZチャートで業績の趨勢を把握し、それらを元に予算実績の比較グラフを作成することもできます。

通常の会計ソフトでは会計期間で締められるため、移動年計を計算することはできませんが、会計参謀では会計年度を越えた業績推移を移動年計グラフで把握することができます。

古田土会計版では、これらに加えて税理士法人 古田土会計で実際に使用されている年計グラフや予算実績グラフ、売上高科目別の月別比較グラフ、資金別貸借対照表なども作成できます。

参考文献

古田土 満：社員 100 人までの会社の「社長の仕事」（かんき出版 2015 年）

古田土 満：経営計画は利益を最初に決めなさい！——社長しかできない、2つの落とし込み
（あさ出版 2017 年）

会計参謀シリーズ 移動年計グラフの見方・ポイント (Version 1.0)

- ・初版 2021 年 6 月
- ・発行所 プロ・ビジョン株式会社
〒810-0013
福岡市中央区大宮 1-5-30 3F
<http://www.p-vision.net>
- ・ご注意 ①本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
②本書の内容に関しては訂正・改善のため、将来予告なしに変更することがあります。

Copyright © 2021 Provision Co., Ltd. All rights reserved.